

2020年2月24日

あおぞら投信株式会社

「陽々の 生きるところを 育てつつ

世の繋がりを いかに作るや」

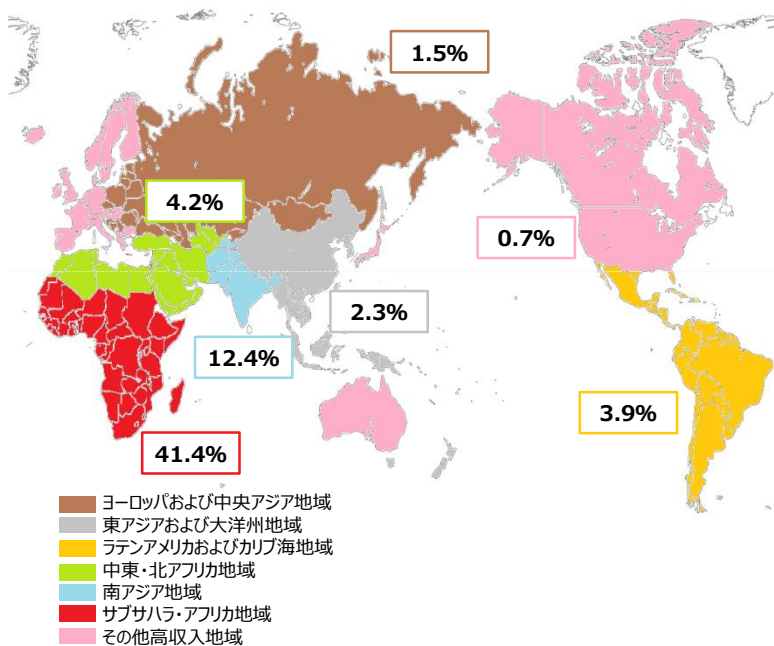
現在、各国が新型コロナウイルスの拡がりを抑えようとしていますが、世界中の人の動きを止めることはとても出来ることではなく、もちろん空気を閉じ込めることも出来ないのです。“こちら”と“あちら”は違う国だからと言っていた関係も今や全くもって切っても切れない関係になっているのです。グローバル企業にとって世界を股にかけた水平分業は当然のことであり、サプライチェーンの効率的な運用と危機管理は常に課題ではあります。そして、ただいま現在この課題に向き合っている状況なのです。そのような中で日本の役割は何なのかを考える機会と捉えたいと思います。

確かに人間の中に“分断本能”は存在するのでしょうか。人は自分の住む世界の位置づけを探ることが多くあり、自分が先進国に住んでいる一方で、他に発展途上国に住んでいる人もいて、その人たちの生活レベルを勝手に想像することをしがちです。発展途上国の呼び方を新興国と変えても、自分たちの見方が変わることはないでしょう。“自分たちの見方”と言った時に、多くの人にとっての見方の源泉は『最初に教えられた時の記憶』であることが多いのではないのでしょうか。すなわち、自らが今日の姿を想像するのではなく、過去に学んだままに判断する傾向があるということです。それは映画『パラサイト』のようにひとつの国の中でも強く存在するのです。20世紀後半の変化と21世紀に入ってからのさらなるインターネットでの繋がりが深まった世界に関して、自分たちの認識がそもそも分断してしまっている可能性が高いということです。今後は、世界中で起こること、特に先進国ではない国々で起こることの変化を、決して分断させずに見ていくことが特に大切になることは間違いないと考えます。

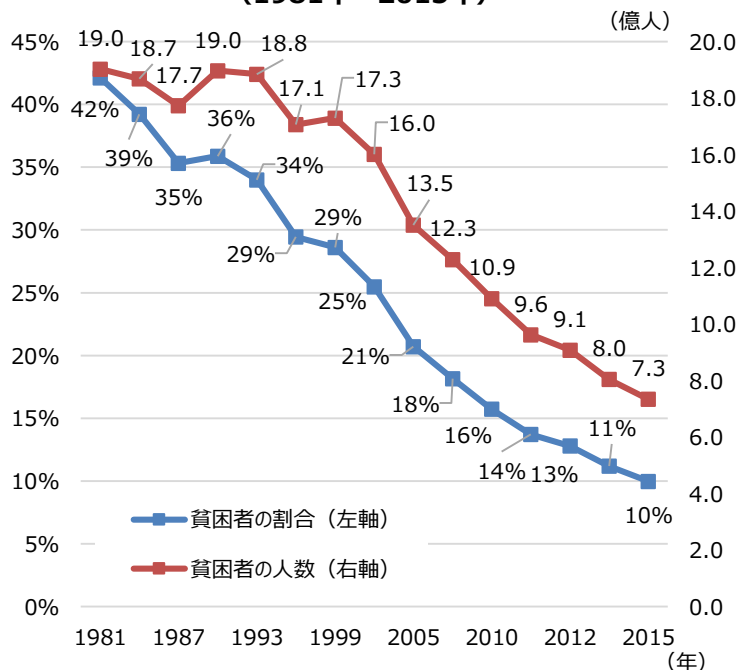
参考：『ファクトフルネス』ハンス・ロスリング、オーラ・ロスリング、アンナ・ロスリング・ロンランド著 2018年)

柳谷俊郎

地域別総人口に対する貧困者の割合（2015年）



世界の総人口に対する貧困者割合と貧困者数（1981年～2015年）



※貧困者は、世界銀行の定めた分類で、2011年の購買力平価（PPP）に基づき、「1日1.9米ドル未満で暮らす人（2015年10月改定）」としています。

出所：世界銀行の情報を基にあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号：あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第2771号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス：<http://www.aozora-im.co.jp/>